

平成19年度6月補正予算の概要

平成19年度当初予算は、4月の知事選挙を控え骨格予算として編成し、引き続き財政改革を強力に推進しつつ、県民福祉の充実と県勢の発展を図るために着実な実施が求められる事業や、社会情勢の変化に伴う緊急課題への対応が必要な事業などについて、的確に予算計上するとともに、政策的な判断を今後委ねるべき事業については、6月補正予算で対応することとしたところである。

一方、本県の財政は、今般見直した「中期財政見通し」（平成19年度～平成23年度）で示したように、「中期財政改革基本方針」に基づく昨年度までの3カ年の取組みを踏まえてもなお、毎年度200億円台後半の収支不足が生じる見込みであり、現状のままでは、早ければ、平成21年度には基金が枯渇する恐れがあるという極めて深刻な状況にある。

したがって、中長期的に持続可能な財政運営ができるよう、もう一段踏み込んだ改革努力が必要であり、先に設置した「改革推進会議」で広く県民の意見を聴取しつつ、財政健全化のための道筋を10月末までに示していくこととしている。

このような状況を踏まえ、6月補正予算は、限られた財源の重点的配分と歳出の効率化を基本としつつ、地域経済の活性化や人材の育成など、早急に対応することが必要な事業について措置し、総額59億1600万円余を計上することとした。

その結果、補正後の予算総額は、5,166億円余となり、前年度当初予算と比較して1.3%の減となった。

(単位：百万円、%)

一般会計	平成19年度 当初予算額	6月補正額	平成19年度 6月補正後 予算額 A	平成18年度 当初予算額 B	対前年 同期比 A/B
予算総額	510,731	5,916	516,647	523,261	98.7